



令和5年度 6月号 校長 饗場 宏
上の写真は、左から、6年生：プール清掃、修学旅行、学校のあじさい、5年生：校外学習での様子です。

温かな見守りをいただく中、登下校ができる東小の児童 地域とともにある東小学校

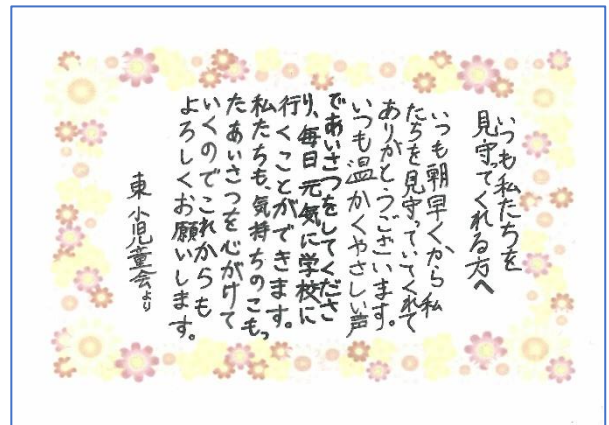


本年度がスタートして2カ月が過ぎ、児童は、毎日の学校生活や校外学習等の体験をとおして、新しい教科や新しい友達・先生との生活に徐々に慣れてきたのではないかと思います。もちろん、新しい生活を迎えるときは、誰も不安や期待で胸がいっぱいになったり、課題に気づいたり、困り感を感じてしまったりするものです。とりわけ6月は、GWが終わったり梅雨になったりすることで、心が晴れやかになれずちよっぴり疲れが出る時期でもあります。順調かそうでないかは関係なく、教師・保護者が、児童の成長や頑張り「あせらず・せかさず」に温かい気持ちで支援することができれば幸いと思います。

そのような中、昨年度に引き続き、たくさんの地域の皆さまには、毎日児童の登下校路に立っていただき、見守りをいただいていますこと、心より感謝申し上げます。

本年度から発足した学校運営協議会におきましても、登下校の見守りボランティアの輪を広げることを期待した取組を少しずつ展開していくことが確認されました。より多くの方によって見守られ、児童が安心・安全な生活を送れますよう、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。やがて児童が大人になった時、地域の皆さまの見守り等が、いかに貴重でありがたいことであつたかと気づくことと思います。この東小地区での善意が世代を超えて引きつがれ、好循環が持続可能なものになりますよう願っています。

ささやかではありますが、児童会本部の児童が中心となって、見守りをしてくださっている皆さまへの感謝のメッセージカードを作りました。紙面で恐縮ですが、児童からの感謝の気持ちを受け取っていただければ幸いです。



エピソード

あいさつ運動として児童玄関で活動している児童会本部の児童が、活動をしながら、低学年の傘立てを整頓してくれていました。本校のよい伝統は、こうした活躍から引き継がれていくのだと実感しました。ちなみに、自分の学年の傘立ては……。

〇〇〇の終わりまでに育てほしい10の姿(文部科学省)

表題の〇〇〇の箇所には、ある言葉が入ります。ちなみに「10の姿」とは、①健康な心と体、②自立心、③協同性、④道徳性・規範意識の芽生え、⑤社会生活と関わり、⑥思考力の芽生え、⑦自然との関わり・生命尊重、⑧量・図形、文字等への関心・感覚、⑨言葉による伝え合い、⑩豊かな感性と表現です。実は、これらは文部科学省より「**幼児期の終わりまでに育てほしい姿**」と紹介されているものです。「成人式」や「義務教育」の終わりまでに…と紹介されても、不自然さは感じない気もします。そこで、「**小学生の終わりまでにしっかり育てほしい10の姿**」と考えていくのはいかがでしょうか。

参考「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示)

児童の笑顔と未来のため、地域やご家庭の皆さまとともに、児童の健やかな成長を期す「地域とともにある学校」を創り上げていきたいと思ひます。本校教育活動への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。